

ごあいさつ

新潟県生活文化研究会は、新潟県を中心とする地域の生活文化に関する学術的研究と普及、および会員相互の交流を図ることを目的としており、衣・食・住、民俗、ことばなど多岐にわたる研究が行われています。

本年3月に発刊した『新潟の生活文化』No.24には以下のように多岐にわたる7編の投稿がありました。

- ・ デンデログラムで読む“癒しの食生活”の地域性
— 家計調査データに基づいて— 本間伸夫 立山千草
- ・ 山・坂・谷の陰には何かがある 長期間・短間隔折れ線グラフが教えてくれるもの
— 統計の深読みで知ったこと5— 立山千草 本間伸夫
- ・ 日本酒の香気に及ぼす雪利用貯蔵の効果
— 官能評価とモデル実験による検討— 神山 伸 臼井 歩 曾根英行
- ・ 震災で失われた街並みのVR復元に関する研究—新潟県柏崎市東本町二丁目
「えんま通り商店街」におけるケーススタディー 梅田隆宏 三戸部 智 飯野秋成
- ・ 1/10 住宅組立模型を用いた音環境教育の実践 広川智子 飯野由香利 後藤哲男
- ・ 西洋建築史および都市計画史の導入授業のあり方に関する一考察 飯野秋成
- ・ ニホンジカ、最新「食品成分表」に載る！ 立山千草

来年3月刊行予定のNo. 25への投稿をお待ちしています。学術的研究はもちろん、情報交換を目的とする「ひろば」などへの寄稿も募集しています。またエッセイや活動報告など、短いものでもけっこうです。締め切りは**2019年1月末**です。新潟県生活文化研究会のメールアドレス lcniigat@unii.ac.jp もしくは新潟県立大学の木佐木宛お送りください。何卒よろしく願いいたします。

今年度の本研究会の総会・年次大会は、**11月11日（日）**に行います。今年も新潟県立大学の大学祭とは別の日になります。総会では、活動・決算報告、活動・予算計画、役員を選出などを予定しています。その後、年次大会を開催いたしますので、ご検討の上ご出席いただければ幸いです。また今年も委任状は省略いたします。もしご意見などございましたら、同封の振替用紙にお書きになるか、研究会事務局にご連絡ください。

大会では、研究発表・ポスター発表等を予定しています。発表をご希望の方は次ページに掲載の大会開催要項をご覧ください。なお、大会のプログラムが決まりましたら、あらためてご案内いたします。

平成 30 年度 新潟県生活文化研究会総会・年次大会開催要項

日時 11月11日(日)
場所 新潟県立大学 2号館3階 2309教室
総会 12:00-
・平成29年度の活動報告と決算報告
・平成30年度の活動計画と予算報告
・『新潟の生活文化』の投稿要領について など

年次大会 13:00-16:30 予定 (12:40 開場)

研究発表(またはトピックス) 3件程度 1件40分(発表30分、質疑10分)
ポスター発表 30分(発表時間自由)

◎年次大会には一般の方も参加できます。お知り合いの方にお声かけください。(予約不要)

発表をご希望の方へ： 研究発表(またはトピックス)・ポスター発表とも、9月30日(日)までに、新潟県生活文化研究会のメールアドレス lcniigat@unii.ac.jp もしくは新潟県立大学の木佐木宛、発表者名・題目・100-200字程度の概要をつけてお申し込みください。研究発表の応募件数が多い場合は、恐縮ながらポスター発表にまわっていただく可能性があります。あらかじめご承知おきください。

会費納入のお願い： 平成30年度会費が納入済みでない方は、納入をお願いいたします。年会費3500円です。未納の方は、同封の振替用紙をご利用になるか、会計あて現金で納入してください。

振替口座 00640-8-2252 新潟県生活文化研究会

平成30年度 研究会役員

会長	木佐木哲朗
副会長	渡邊令子 飯野秋成 立山千草 野村憲一
会長補佐	立山千草
運営委員	
会誌編集担当	飯野秋成 佐々木博昭 立山千草 福嶋秩子 本間伸夫
広報担当	神山 伸 野本洋平
会計担当	曾根英行
書記担当	木佐木哲朗 辻 友美
事務局および『たより』編集担当	佐々木博昭 福嶋秩子 木佐木哲朗 立山千草
幹事	富永禎秀 萩原 真 小島 唯
監事	板垣俊一 佐藤恵美子
顧問	本間伸夫 佐々木博昭